

# 2020県民アンケート調査

～県民生活や県の取組みに関する意識調査～

～ 県民アンケート調査へのご協力のお願い ～

県民の皆様には、日頃から、県政の推進にご理解、ご協力をいただき心からお礼を申し上げます。

熊本県では、県政に県民の皆様のご意見を反映させていただくため、毎年、県民アンケート調査を実施しています。

この調査は、日常生活や社会・生活環境、県の取組み等について、日頃、皆様を感じていることや、行っていることをお尋ねし、県の施策に活かしていくものです。

調査をお願いする方の選定にあたりましては、県内にお住まいの20歳以上の方々の中から、1,500名を各市町村の住民基本台帳より無作為に選ばせていただきました。

よりよい熊本づくりに向け、皆様の率直なご意見をよろしくお願いいたします。



©2010 熊本県くまモン

令和2年(2020年)12月

熊本県知事 蒲島 郁夫

## 調査票へのご記入にあたって

- アンケートへの回答は、封筒のあて名の方**ご本人**でお願いします。  
(ご本人での記入が困難な場合は、代筆でもかまいません。)
- 回答は、**黒の鉛筆又はボールペン**などで、**この調査票に直接記入**してください。
- 内容がわからない質問や、回答したくない質問には、回答されなくてもかまいません。  
(回答していないところがあっても、そのまま返送してください。)
- 記入が終わったら、**同封の返信用封筒に入れ**、切手を貼らずに **令和2年(2020年)12月28日(月)までに** 郵便ポストに投函してください。
- 回答いただいた内容は、無記名のまま集計・分析するため、個人が特定されることはありません。

## ■ お問い合わせ先

熊本県企画振興部企画課 政策班 担当：橋田(はしだ)、久米田(くめだ)

電話 096-333-2018 (直通)

ファックス 096-382-4066

電子メール kikaku@pref.kumamoto.lg.jp

## 新型コロナウイルスについて

問1 あなたが、新型コロナウイルス感染症に関する情報について知りたいことは何ですか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 県内におけるリスクレベル情報
2. 新型コロナウイルス感染症の感染者数
3. 飲食店での感染防止対策
4. イベント開催制限に関する情報
5. 接触確認アプリ
6. 新型コロナウイルス感染症に伴う個人向け支援制度
7. その他 ( )

問2 あなたは、県内における新型コロナウイルス感染症の発生動向についてどのようにして把握していますか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 熊本県・熊本市のホームページやSNS
2. テレビ
3. ラジオ
4. 新聞
5. インターネット (1を除く)
6. その他 ( )

問3 あなたは、日頃から、どのような感染防止対策に取り組んでいますか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 人と接するときにはマスクを着用する
2. こまめに手を洗う (手指消毒をする)
3. 人と人との距離を確保する
4. 「三密 (密閉・密集・密接)」の場を避ける
5. こまめに換気をする
6. 体調が悪いときは不要・不急の外出を控える
7. ステッカー掲示など感染防止対策が行われている店舗を利用する
8. 接触確認アプリを利用している
9. その他 ( )
10. 何もしていない

問4 あなたは、コロナ禍の状況の中、日常生活において不安に感じることは何ですか。  
(あてはまるもの全てに○)

1. 健康状態の悪化(身体・精神的な不安)
2. 収入の減少
3. 支出の増加
4. 働き方の変化
5. 外出時における制限
6. 人との交流機会の減少
7. 学習機会の減少や学力の低下
8. 文化芸術に触れる機会の減少
9. 運動やスポーツの機会の減少
10. 特にない

問5 eスポーツ(ゲーム)は国体で採用され、本県においても、公立高校の部活動でeスポーツ部が創設されたり、介護現場で活用されるなど、社会的認知度が高まりつつあります。また、コロナ禍の巣ごもり需要に対応し、ゲーム業界は好況が続いています。

あなたは、eスポーツの振興についてどのような影響があると思いますか。  
(あてはまるもの全てに○)

※eスポーツとは、コンピュータゲームやビデオゲーム等をスポーツ競技として捉える際の名称です。

1. 産業人材(ICTを活用できる人材)の育成に寄与できる
2. 認知症予防や世代間交流に寄与できる
3. 引きこもり対策に寄与できる
4. 経済の活性化に寄与できる
5. ゲーム依存症等の健康被害が心配である
6. その他( )

## 防災・治安について

問6 あなたは、ご自身やご家族を災害から守るために、何をしていますか。  
(あてはまるもの全てに○ ※13以外は複数選択可)

1. 家具等の固定
2. 水・食料等の備蓄
3. 非常用持出品の準備
4. 風呂に水をためる
5. 地域の危険箇所やハザードマップ（災害等発生時の危険箇所）の確認
6. 指定避難場所、経路の確認
7. 家族との連絡方法の確認
8. 自主防災組織などが行う訓練への参加
9. 県・市町村等のホームページ等での気象情報などの収集
10. 自治体の防災メールの登録
11. 早めの自主避難（予防的避難）
12. その他（ )
13. 何もしていない

問7 防災に関する知識で、今後、県が普及・啓発に力を入れる必要があると思うものはどれですか。(あてはまるもの全てに○ ※12以外は複数選択可)

1. 避難所や避難経路に関する情報
2. 個人でできる災害に対する備え（自助）
3. 近隣の安否確認や、避難誘導など地域でできる取組み（共助）
4. 災害時の情報収集方法
5. 災害時の注意点
6. 避難生活で気を付けること
7. 災害ボランティアの支援要請や参加方法
8. ハザードマップの情報
9. 地震に関する情報（断層の場所や発生確率等）
10. 防災士（防災に関する知識を有し、災害時等に活動する民間資格者）の資格取得に関する情報
11. その他（ )
12. 特にない

問 8 あなたは今まで、自治体から避難勧告や避難指示等が出ている中で、又は出る前に、避難所や親戚の家などに避難したことがありますか。(1つだけ○)

1. ある
2. ない

(問 8) で、「ない」と答えた方にお尋ねします。

問 9 避難を行わなかったのはなぜですか。(3つ以内で○)

1. 高台やマンションの2階以上など、家の位置や特性から避難しなくても大丈夫だと思ったから
2. 夜間や大雨の中で避難する方が危険だと思ったから
3. 今までの経験上、避難しなくても大丈夫だと思ったから
4. 自身の健康・肢体上の理由で避難が難しかったから
5. 家族やペットの事情で避難が難しかったから
6. 近所の人や避難しなかった(避難しているかどうか分からなかった)から
7. 避難所での生活が不安だったから
8. 避難勧告や避難指示が出ていると知らなかったから
9. その他( )

問 10 大雨、台風、高潮など、近いうちに災害が発生する可能性がある場合に、どのような情報・告知・ツールがあれば、あなたは「早めの避難」行動を実践しようと思いますか。(重要と考えるものから、3つ以内で○)

1. 携帯電話等に送られる告知メール(エリアメールなど)
2. テレビ・ラジオによる災害リスクを伝える情報
3. 市町村が行う防災行政無線による災害リスクを伝える情報
4. 近所の人からの避難の声掛け
5. お住まいの地区の避難計画
6. 家庭ごとの避難計画
7. 気象台や国がホームページ等で公表する情報
8. 県がホームページ「防災情報くまもと」で発信する情報
9. 住民が投稿したSNSの情報
10. 学校の先生や職場の上司からの注意喚起の情報
11. 特に必要ない

問11 あなたは、ご自宅の地震に対する安全性の確保（耐震化）を行っていますか。  
（1つだけ○）

○ご自宅が自己または家族所有の方

- 1. 建築もしくは購入当初から耐震性がある
- 2. 耐震化工事を実施済み（工事中又は工事予定を含む）
- 3. 耐震診断を行って、必要ならば、耐震化工事を行いたい

} 問13にお進  
みください

- 4. 耐震診断を行うが、耐震工事を実施するかどうか分からない
- 5. 耐震性はない、もしくはあるか分からないが、耐震診断、  
工事とも現在のところ行う予定はない

} 問12にお進  
みください

○ご自宅が自己または家族所有ではない方

→ そのまま  
問13にお進  
みください

※この質問は、問11で、選択肢4・5のいずれかを選択された方のみにお尋ねします。

問12 ご自宅の耐震化工事を行うかどうか分からない、もしくは行わない理由を教えてください。（あてはまるもの全てに○）

- 1. 耐震化のために何から始めたらよいか分からないため
- 2. どのような業者に耐震診断、耐震化工事を頼んでよいか分からないため
- 3. 建替え予定のため
- 4. 耐震化工事を行う費用がないため
- 5. 自宅を長く活用する予定がないため
- 6. 現在耐震化について検討していないため
- 7. その他（）

問13 あなたは、治安をよくするために、どのような取組みが必要だと思いますか。  
(あてはまるもの全てに○)

1. 防犯カメラや防犯灯の設置など犯罪が起きにくい環境の整備
2. 防犯ボランティアなどによる自主防犯活動の強化
3. 個人レベルでの防犯対策の実施
4. 規範意識を高める教育の実施
5. 犯罪の厳罰化
6. 就労支援など犯罪者への再犯防止対策の充実
7. ご近所など地域社会における絆づくりの強化
8. ネット上の違法・有害情報の削除やサイバーパトロール
9. その他 ( )

### 救急医療について

問14 あなたは、お住まいの地域における救急医療体制についてどのように思いますか  
(1つだけ○)

1. 整っていると思う
2. どちらかといえば、整っていると思う
3. どちらかといえば、整っていないと思う
4. 整っていないと思う
5. わからない

※整っていると思うか、思わないかについては、以下の視点等からご回答ください。

- ・ 休日や夜間に対応している医療機関が多いと感じるか、少ないと感じるか。
- ・ 重篤な救急患者を受け入れる病院が多いと感じるか、少ないと感じるか。
- ・ 最寄りの医療機関まで遠いと感じるか、近いと感じるか。

## 高齢者の福祉・介護について

問15 あなたは、いつまでも生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心して生活できる社会を実現するために、何が足りないと思いますか。(2つ以内で○)

1. 高齢者の就労支援
2. 健康づくりや介護予防
3. 見守りや家事などの日常的な生活支援
4. 認知症になっても安心して暮らせるための施策
5. 高齢者の権利擁護(成年後見制度の利用促進、虐待防止等)
6. 在宅で医療や介護サービスを受けるための体制づくり
7. 介護保険施設等の整備
8. 高齢者向け住まいの供給促進
9. 介護に従事する人の確保や介護サービスの質の確保・向上
10. その他( )

## 障がい者施策について

問16 熊本県では、「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」により、障がいの有無にかかわらず、安心して暮らすことができる共生社会の実現を目指しています。あなたは、この条例を知っていますか。(1つだけ○)

1. 知っている
2. 名称は知っている、もしくは聞いたことがある
3. 全く知らない

## 結婚・少子化について

問17 現在、我が国では少子化が進んでいますが、その原因の一つとして、結婚していない人の割合が増加していることが指摘されています。

あなたは、結婚を希望している人が結婚できるように、職場や地域、行政などみんなで応援している社会環境にあると感じますか。(1つだけ○)

1. そう思う
2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない
4. そう思わない
5. わからない



## 妊娠・出産について

問18 あなたは、県民が安心して妊娠・出産ができる環境にあると感じますか。  
(1つだけ○)

1. そう思う
2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない
4. そう思わない
5. わからない

## 子育て・家庭教育について

問19 「くまもと家庭教育支援条例」に基づき、「親の学び」講座の開催や、「くまもと家庭教育10か条」、「くまもと携帯電話・スマートフォンの利用5か条」の周知、チラシの配布等に取り組んでいます。あなたは、この条例を知っていますか。  
(1つだけ○)

1. 知っている
2. 名称は知っている、もしくは、聞いたことがある
3. 全く知らない

問20 あなたは、お住まいの地域の子どもたち（高校生以下とします）が、未来への夢を持ち、自ら進んでよく学び、よく遊び、様々な人とふれあい、様々な体験をするなど、心豊かに育っていると思いますか。(1つだけ○)

1. そう思う
2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない
4. そう思わない
5. わからない

※この質問は、現在、中学生以下のお子様がいらっしゃる方のみにお尋ねします。

問21 あなたは、子育てが楽しいと感じることが多いですか、それとも辛（つら）いと感じることが多いですか。（1つだけ○）

1. 楽しいと感じることが多い
2. どちらかといえば、楽しいと感じることが多い
3. 楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある
4. 辛いと感じることが多い
5. わからない

### 健康について

問22 あなたは、令和元年度（2019年度）に1日に30分以上運動やスポーツを実施した日数を全部あわせると、何日くらいになりますか。（1つだけ○）

1. 週に5日以上（年251日以上）
2. 週に3日以上（年151日～250日）
3. 週に2日以上（年101日～150日）
4. 週に1日以上（年51日～100日）
5. 月に1日～3日（年12日～50日）
6. 3か月に1日～2日（年4日～11日）
7. 年に1日～3日
8. 令和元年度（2019年度）に運動やスポーツはしなかった
9. わからない

※ウォーキング、散歩、自転車、キャンプ、登山、フィッシング、ひと駅歩き、階段昇降等、目的をもって楽しく体を動かした場合（レジャーや通勤・通学の場合も含む）も運動やスポーツを行っていると考えてください。

問23 あなたは、食育の考え方や内容を理解し、日常生活の中に活かしていますか。（1つだけ○）

※食育とは「食に関する知識や技術を身につけること」です。

1. 内容を理解し、十分活かしている
2. 内容を理解し、ある程度活かしている
3. 内容は理解しているが、あまり活かしていない
4. 内容は理解しているが、ほとんど活かしていない
5. 言葉は聞いたことはあるが、内容は知らない
6. 全く知らない



## 地下水について

問28 あなたは、水田でのお米づくりや化学肥料を減らすことで、地下水や土を育んでいることを知っていますか。(1つだけ○)

1. 知っている                      2. 少し知っている                      3. 知らない

問29 あなたは、「くまもとグリーン農業」が、化学肥料や化学農薬を減らした環境にやさしい農業の取組みであることを知っていますか。(1つだけ○)

1. 知っている                      2. 少し知っている                      3. 知らない

## 食の安全安心・農林水産物等について

問30 あなたは、現在、販売されている農林水産物（生鮮食品）や加工食品に不安を感じますか。(1つだけ○)

1. 全く不安はない  
2. あまり不安はない  
3. ある程度不安がある  
4. とても不安がある  
5. わからない

※この質問は、問30で、選択肢3・4のいずれかを選択された方のみにお尋ねします。

問31 ある程度不安がある、もしくはとても不安があることは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 輸入食品  
2. 食品添加物  
3. 残留農薬  
4. 食中毒  
5. 環境汚染物質（カドミウム、ダイオキシン等）  
6. 遺伝子組換え食品  
7. 偽装表示  
8. 放射性物質

問32 あなたは、地域で生産されたものを地域で消費する「地産地消(ちさんちしょう)」に関心がありますか。また、県内でできた農林水産物(または加工品)を購入(またはレストランなどで注文)していますか。(1つだけ○)

1. 地産地消に関心があり、なるべく県産農林水産物を購入している
2. 地産地消に関心はあるが、県産農林水産物にはこだわらない
3. 特に関心がない

### 循環型社会について

問33 循環型社会を形成していくために、あなたは、特に意識して取り組んでいるものはありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 職場や学校でのマイボトル・マイカップの利用
2. マイバッグを利用することでレジ袋の削減
3. 詰替え用製品や再利用できる瓶が使用された製品の購入
4. フリーマーケットやリサイクルショップの活用
5. リサイクルを意識した家庭でのごみの分別の徹底
6. プラスチックごみの分別排出の徹底
7. その他( )

問34 国連で一人あたりの食品廃棄物を半減させるという目標が設定されたなか、日本では食品ロス(まだ食べられるのに捨てられている食品)が年間推計612万トン(事業系328万トン、家庭系284万トン)発生しています。

あなたがより効果的と考える対策はどれですか。(あてはまるもの全てに○)

(企業における取組み)

1. 賞味期限間近など販売できない食品をフードバンク※へ提供
2. 消費期限及び賞味期限が間近な食品の値下げ販売
3. 食品廃棄物のリサイクル(堆肥化、飼料化など)
4. 正確に食品の需要量を予測する取組み
5. 小盛り、おかわり自由など提供量の調整
6. その他( )

(家庭等における取組み)

1. 「買い物前の冷蔵庫確認」など買いすぎを控える
2. 余っている食品をフードバンクなどに提供する
3. 生ごみを水切りや生ごみ処理機で減量する
4. 保育所、小学校、中学校での環境教育
5. その他( )

※フードバンクとは、食べられる様々な食品を企業などから集め、地域の福祉団体や個人に届ける活動を行う組織のこと。

### 食品ロス削減問題について

問35 あなたは、食品ロス削減を意識して行っていますか。  
(1つだけ○)

1. 行っている
2. 何も行っていない

問 3 6 ※この質問は、問 3 5で「食品ロス削減を意識して行っている」と回答された方のみにお尋ねします。

どのようなことを行っていますか。

(あてはまるもの全てに○)

1. お店では使い切れる分だけ食材を購入することを心掛けている
2. お店では出来る限り賞味（消費）期限が近いものを購入している
3. 家で調理をする際、一度に食べきれぬ量だけ作っている
4. 家で調理をする際、食材の食べられる部分は使い切るように心掛けている
5. 冷蔵庫や保管庫での食材の保存方法、配置方法などを工夫している
6. 飲食店では、食べきれぬ範囲で注文している
7. 飲食店で食べ残しが出来る場合には、ドギーバッグ（※）等を利用し、持ち帰っている。
8. その他（ ）

※ドギーバッグとは、客が食べ残した料理をつめて客が持ち帰るための袋や容器のことです。

問 3 7 ※この質問は、問 3 5で「食品ロス削減に対し何も行っていない」と回答された方のみにお尋ねします。

何も行っていない理由はなんですか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 食品ロスの問題に関心がない
2. お店で商品を購入する際、食品ロス削減のためにはどのような購入の仕方をすればよいか分からない
3. 家で調理を行う際、食材をどのように調理すれば食品ロスを削減できるか分からない
4. 家で食品を管理する際、どのようにすれば食品ロスを削減できるか分からない
5. 飲食店を利用する際、どのような頼み方をすれば食品ロスを削減できるか分からない
6. その他（ ）

## 生物多様性について

問38 あなたは、「生物多様性」という言葉の意味を知っていますか。  
(1つだけ○)

1. 言葉の意味を知っている
2. 言葉は聞いたことはあるが、意味は知らない
3. 言葉を聞いたことがない

## 教育について

問39 あなたは、熊本の将来を担うグローバルな人材（国際化社会で活躍できる人材）を育成するために、何が重要だと思いますか。(3つ以内で○)

1. 学校における英語教育の充実
2. 主体性・積極性を促す教育の充実
3. 郷土を誇りに思い、郷土の文化や歴史を深く知る教育の充実
4. 異文化理解を深める教育の充実
5. 海外留学支援制度などの情報提供
6. 海外大学進学や留学に対する学校での進路指導の充実
7. 海外大学進学や留学費用に対する助成
8. 海外からの留学生の積極的な受入れ
9. 海外の学校との交流活動の促進
10. グローバルな視野を拓くための講演会やセミナーの開催
11. その他 ( )

## 歴史・文化について

問40 現在、地域の伝統芸能・伝統文化の継承が危ぶまれています。伝統芸能を継承されていくためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。(3つまで選択可)

1. イベントでの発表の場の提供
2. 小中学校での体験学習
3. インターネットSNS等による情報発信
4. 道具、衣装等の整備のための助成
5. 記録映像の作成
6. アドバイザーの派遣
7. その他



問41 あなたは、この一年間に美術館、博物館等の文化芸術施設に行ったことがありますか。(1つだけ○)

1. 県内施設に行った
2. 県外施設に行った
3. 両方
4. 行かなかった

※この質問は、問41で選択肢2・4を選択された方のみにお尋ねします。

問42 美術館、博物館等の文化芸術施設に行かなかった理由、または県内施設に行かなかった理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 興味がない(行こうと思わない)
2. 他の余暇の過ごし方を優先する
3. アクセスが悪い(公共交通機関が不便等)
4. 以前行ったことがあるが、展示内容があまり面白くなかった
5. 以前行ったことがあるため、もう行かなくてよい
6. 開館日(時間)が自分の都合に合わない
7. 観覧料金が低い
8. その他( )

## 動物愛護について

問43 あなたは、県の保健所や、県内の動物愛護センターから犬や猫を譲り受けることができることを知っていますか。

また、飼い犬・猫が迷子になった時、お住まいの地域の保健所や警察署に連絡(届出)することで、保護されているかを確認できることを知っていますか。

(譲り受けについて)

1. 知っている
2. 知らない

(保健所等への連絡(届出)について)

1. 知っている
2. 知らない

## 自転車保険について

問44 あなたは、自転車保険（自転車事故により相手の生命又は身体に損害を与えた場合に補償できる賠償責任保険）に加入していますか。（あてはまるもの全てに○）

※自動車保険や火災保険の特約として加入している場合も含みます。（個人賠償責任特約など、名称は各社により異なります。）

1. 自転車を利用しており、保険に加入している
2. 自転車を利用しているが、保険に加入していない
3. 自転車を利用しているが、保険に加入しているかわからない
4. 自転車を利用していない
5. その他（ ）

## 県の広報媒体について

問45 あなたが、県の施策・取組みを知るのに身近な媒体はどれだと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

1. 県広報誌「県からのたより」
2. 県政広報テレビ「くまモン スマイル ジャンプ！」
3. 県政広報ラジオ「AM ふれあいくまもと」「FM 県庁ダイアリー」
4. 県からの新聞紙面広告（報道記事を除く）
5. 県ホームページ
6. SNS（ツイッター、フェイスブック、ラインなど）
7. 報道
8. その他（ ）

## 県政に対するご意見

県政全般について、ご意見、ご提案がありましたらご記入ください。

## 基本項目

あなたご自身のことについてお尋ねします。

1 あなたのお住まいはどちらですか。あてはまる市町村の番号に○をつけてください。

熊本市	1. 熊本市中央区 2. 熊本市東区 3. 熊本市西区 4. 熊本市南区 5. 熊本市北区	菊池	16. 菊池市 17. 合志市 18. 大津町 19. 菊陽町	八代	32. 八代市 33. 氷川町
宇城	6. 宇土市 7. 宇城市 8. 美里町	阿蘇	20. 阿蘇市 21. 南小国町 22. 小国町 23. 産山村 24. 高森町 25. 南阿蘇村 26. 西原村	芦北	34. 水俣市 35. 芦北町 36. 津奈木町
玉名	9. 荒尾市 10. 玉名市 11. 玉東町 12. 和水町 13. 南関町 14. 長洲町			球磨	37. 人吉市 38. 錦町 39. あさぎり町 40. 多良木町 41. 湯前町 42. 水上村 43. 相良村 44. 五木村 45. 山江村 46. 球磨村
鹿本	15. 山鹿市	上益城	27. 御船町 28. 嘉島町 29. 益城町 30. 甲佐町 31. 山都町	天草	47. 天草市 48. 上天草市 49. 苓北町

2 あなたは、熊本県に通算何年くらいお住まいですか。次のうちあてはまるものに○をつけてください。

- |             |              |            |
|-------------|--------------|------------|
| 1. 1年未満     | 4. 5年～10年未満  | 7. 20年～30年 |
| 2. 1年～ 3年未満 | 5. 10年～15年未満 | 8. 30年以上   |
| 3. 3年～ 5年未満 | 6. 15年～20年未満 |            |

3 あなたの性別はどちらですか。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

4 あなたの年齢は次のどれですか。

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20～29歳 | 3. 40～49歳 | 5. 60～69歳 |
| 2. 30～39歳 | 4. 50～59歳 | 6. 70歳以上  |

ご協力ありがとうございました